

岡山理科大学 生物地球学部 生物地球学科(地学)グループの課題研究について紹介します。

テーマ：龍ノ口山にみる白亜紀の火山活動

指導教官：岡山理科大学 生物地球学部 生物地球学科 能美 洋介教授

対象：Aコース・Rコース2年生 吉原，高山，竹内，中塚，田中

1. 研究テーマ

岡山市の北部に位置する龍ノ口山には、白亜紀の火山活動に伴う地層が分布しています。その詳細は明らかではありません。地球は基本的に岩石や地層からできており、岩石には岩石ができた当時の条件（温度、圧力など）や過程（例えば、マグマが冷えて固まったなど）が記録されています。そこで、龍ノ口山の岩石や地層から当時の火山活動の様子を明らかにしていきます。



図1. 能美先生による講義
岩石の薄片プレパラートをみせていただいています

2. 現在の状況

理大附属高校では地学が開講されていないため、地学の知識を習得することが先決です。そのため、まず課題研究に関わる内容を教科書や資料集を用いて学習しています。また、花崗岩の薄片を偏光顕微鏡で観察・スケッチ（図2）し、その色や特徴から含まれている鉱物を予想しました。次回の研究室訪問の際に答え合わせです。



図2. 花崗岩の薄片観察とスケッチ
その奥では、教科書等を使っての学習

3. 今後の予定

現地調査により龍ノ口山にどのような種類の岩石や地層がみられるかを記載し、さらに岩石の薄片作成、顕微鏡観察を通じて研究を進めていきます。

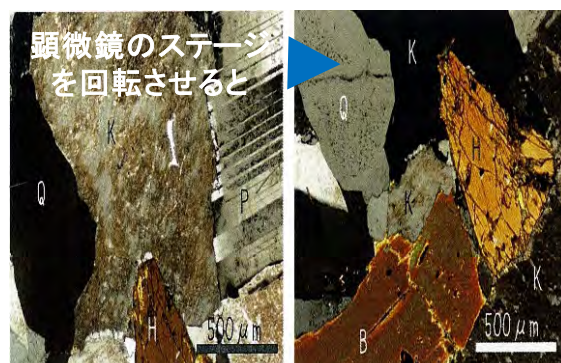


図3. 花崗岩の偏光顕微鏡写真